全ての民主団体は民学同に結集しよう。

市大学費値上げ阻止、新寮獲得に向け、学長団交、学生大会実現へクラス決議、要求署名を集中せよ。

今年度、市大・学費値上げ阻止、新寮獲得を中心に、学長団交を中心とする闘いを開始した。

全学の学友諸君、国公私学学費値上げ攻撃は、昨年度以来百十数校に渡る私学学費値上げ、国立大授業料値上げの学費値上げとなって現われ、後期分からの学費値上げとなっている。

政府は、市大学費値上げに関して、森川学長、委員会等の会議の会議上、値上げやむを得ないとしにみられるごとく、大幅値上げの危険性が明らかとなっている。

一連の学費値上げの本質は、何よりも、政府の政策財源不足の穴埋めにあり、大衆収奪の矛盾の現れ、そして、その最大のしわよせである私学危機――財政危機、新学校教育の危機――を、政府、私学本位、学校当局と主張と国民に押しつけることによって最も反動的に乗切らんとしているところに存る。

因に、この一連の値上げ政策は政府の文教政策と無縁でない。私学危機に乗じた強制再編、国立大学における政策とその上にある管理制度の中にあって、これらと対決する闘いとそれを置かなければならない。

同時に、政府、文部省が、強行法案の提国会上程を、新大学法案の提国会上程を、新大学法案の提出とともに、大学の独立性の侵犯、管理体制の法制化、大学の独自による直接支配との対決を、全国的な闘争とはくくとはならないと、その一翼を担わねばならない。

学費―新寮闘争の独自の

下、学長、協議会に対決を要求し！

昨秋の学費値上げ阻止闘争は、クラス、学科を中心に、活発な研究会、討論集会が行われ、L1A、B、C、L2B、T1D、教育学科などで決議など、他のクラス、学科からもアピールなどあげられている。

また、クラス、学部長団交は、なお、なお、なおなおにて実施された。

ここの間、公立大学当局と学長団交の間に長く、社会的約束をすることにて中に、当局、市当局として、再度の、初二の約束破棄に向めようとする態度は、遠距離通学生の怒りの闘いは、大きく前進している。それらの闘いを結合すべく、教育学科、二学年を中心に、市大・14対市総一行動が貫徹され、150名の学友が決起している。

そして、対市総一行動の成果を踏まえ、「学費値上げ阻止、新寮建設」を掲げ、学長団交を実現すべく、クラス、学科、自治組織で総一議長団を構成する「全学学長協議会団交を持つ」ことの連絡会議」（準）が、ここに結成され、現在、松本寮、都島寮、下宿生の全教育学科等を中心に、大衆的な闘いを開始している。

全市大の学友諸君！

我々は、市大学生度学費値上げ阻止、新寮建設に向け、クラスを基礎とした闘いを構築しなければならない。

クラスで、直ちに討論を組織し学費値上げ阻止、新寮獲得、学長団交実現のクラス決議を追求しよう。

学長団交実現に向け署名を集中しよう。そして、クラス決議の圧倒的集中のもと、学長団交実現、市大学費値上げ阻止、新寮獲得を掲げ、学生大会をクラスから作りあげてゆこう。

一九七三年一月八日

民学同市大支部

明治市大支部

学生協議会

1/8

総一協議会

民学同市大支部

二総一の統一行動運動を学生運動、民主主義占領政策反対、安保反対と平和と民主主